



平成 21 年 7 月 23 日

報道関係各位

つくば3E フォーラム委員会

第 3 回つくば3Eフォーラム会議の開催について

つくば3Eフォーラム委員会（委員長：井上勲・筑波大学生命環境科学研究科教授）は8月8日（土）、つくば国際会議場（中ホール）において「第3回つくば3Eフォーラム」を開催いたしますのでお知らせします。

「3E」とはEnvironment（環境）、Energy（エネルギー）、Economics（経済）の3つの単語の頭文字であり、このフォーラムを通してつくば市が3Eの要素をバランス良く保つ環境都市になるよう、技術やシステムの提案をしていくのが目的です。第1回フォーラム会議（主催：筑波大学、つくば3Eフォーラム実行委員会、筑波研究学園都市交流協議会、内閣府）は2007年12月15日、16日の2日間、筑波大学大学会館ホールで開催され、つくば3Eフォーラムの基本方針を定めた『つくば3E宣言2007』が採択されました。なお本フォーラムは、開催日夕方のNHKニュースをはじめ、各種マスメディアで取り上げられるなど多大な反響を呼びました。第2回フォーラム会議（主催：つくば3Eフォーラム実行委員会）は昨年5月31日、6月1日の2日間、筑波大学大学会館で開催されました。この第2回フォーラムは2008年6月に沖縄で開催されたG8科学技術大臣会合の関連イベントでした。第2回フォーラムでは、市民、NPO、産業界等と行政、研究機関との横断的連携を強化し、つくばが有する世界最高水準の知的インフラ及び高度な環境技術を活用した低炭素で、安全安心なエコシティー作りのアクションプランを提示する「つくば3E宣言2008」が採択されました。

第3回のフォーラム会議では、つくば環境スタイル行動計画が本年3月につくば市で策定され、パブリックコメントの受付も完了したつくば市の環境都市としての指針「つくば環境スタイル」について多くの市民の方々と意見交換を行うとともに、藻類燃料の発展性と国際的な動向を探ります。

本フォーラム開催を通して、社会の環境問題やエネルギー問題への興味・関心の喚起にも貢献できるよう、皆様方のご理解とご支援をお願い申し上げます。

以上

<参考資料>

● 第3回つくば3Eフォーラム会議 概要

名称: 第3回つくば3Eフォーラム会議

主催: つくば3Eフォーラム委員会(筑波研究学園都市交流協議会), 筑波大学,
つくば市, 科学技術振興機構 戦略的創造研究推進事業(JST/CREST)

後援: 産業技術総合研究所, 国立環境研究所, 物質・材料研究機構
農業・食品産業技術総合研究機構, 茨城県

参加費: 無料(ただし, 懇親会は会費を頂戴します。)

※当日参加も可能ですが、できるだけホームページ上から事前登録をお願いします。

プログラム(案):

第3回 つくば3Eフォーラム会議

日時: 2009年8月8日(土)10:00~18:00

場所: つくば国際会議場(中ホール) (※会議場南側の研究交流センター駐車場を無料でご利用いただけます。)

3回目となるつくば3Eフォーラム会議では、つくば環境スタイルについて多くの市民の方々と意見交換を行うとともに、藻類燃料の発展性と国際的な動向を探ります。なお、午後からのシンポジウムは東京で開催される第9回国際藻類学会のサテライトシンポジウムとしても位置づけられています。

午前の部

9:30-	受付開始
10:00-12:00	「つくば環境スタイル」概要説明 & パネルディスカッション コンビーナー: 本位田 市長公室長、松本 環境都市推進室長(つくば市) 「つくば環境スタイル」行動計画が本年3月につくば市で策定され、パブリックコメントの受付も完了しました。このシンポジウムでは、この提言を如何に実現するかについて検討するため、担当者による概要説明ならびにパネルディスカッションを行います。
12:00-13:30	ポスター & 展示 私たちの地域や生活を、環境への負荷が少なく安全・安心なものにするには、どうしたらよいでしょう? つくば市およびその周辺での環境改善活動、環境教育、環境・エネルギー技術、環境政策などに関する先進的な取り組みやアイデアを紹介します。

午後の部

13:30-18:00 国際シンポジウム「藻類燃料の開発に関する最新の国際動向を探る」
(使用言語: 英語, 同時通訳有り)
コンビーナー: 井上 勲 教授・渡邊 信 教授 (筑波大学)

本シンポジウムでは、米国・オランダ・オーストラリア・日本・韓国・中国の各国での藻類燃料研究及び科学技術政策の情報交換をおこない、将来の共同研究の可能性を探ります。

13:30-14:00 「Microalgae for Production of Bulk Chemicals and Biofuels」
(バイオ燃料及びバルク化学物質生産のための微細藻類)
Rene Wijffels 教授 (オランダ ワーゲニンゲン大学)

14:00-14:30 「Large-Scale Production of Microalgae for Biofuels」
(生物燃料としての微細藻類の大規模生産)
Bryan Willson 教授 (アメリカ コロラド州立大学)

14:30-15:00 「Possibility of Algal Lipids as Industrial Ingredients」
(藻類脂質の工業原料としての可能性)
彼谷邦光 教授 (日本 筑波大学)

15:00-15:20 コーヒーブレイク

15:20-15:50 「Challenges and Opportunities for Biodiesel from Algae: Approaches by CSIRO, Australia」 (藻類からのバイオディーゼルへの挑戦と機会 - オーストラリア国立自然科学産業研究機関(CSIRO)からの提案 -)
Susan Blackburn 博士 (オーストラリア CSIRO)

15:50-16:20 「Algal Fuel Research in Korea」
(韓国における藻類燃料研究)
Ji-Won Yang 教授 (韓国科学技術研究所)

16:20-16:50 「Biofuels Research and Development - An Overview of the U.S. Department of Energy Office of Biomass Program」
(バイオ燃料の研究開発 - 米国エネルギー省バイオマス計画部の概要 -)
Joyce C Yang 博士 (アメリカ エネルギー省)

16:50-17:40 総合討論
座長: 渡邊 信 教授 (日本 筑波大学)

18:00-20:00 懇親会

【本件問い合わせ先】

「つくば 3E フォーラム 事務局」(筑波大学生命環境科学研究科内)

E-mail: secretariat-3ef@sakura.cc.tsukuba.ac.jp

TEL: 029-853-4301